

サンラバー (RC 造)

施工マニュアル

ゼオン化成株式会社
建築材料部

- ① 下地となるコンクリートスラブは平滑に仕上げ、十分に乾燥させてください。
注：コンクリートの仕上りの平たんさ 2/1,000mm 程度
含水率 8%以下

- ② 壁際より 2~3mm の隙間をあけ、コンクリートスラブ表面とサンラバーをウレタン樹脂系接着剤で全面に接着してください。またサンラバー同士の目地も 2~3 mm の目透し貼りとしてください。
注：ウレタン樹脂系接着剤は、アイカ工業(株)の JW-280PRO/AL を使用します。
接着剤の使用法および塗布量は、接着剤の取扱説明書を参考にしてください。

- ③ サンラバーを施工後、合板を接着剤とコンクリートネイルを用いしっかり固定します。
注：合板の敷設は、マットと同様に壁際より 2~3mm の隙間を設けます。
また、できるだけサンラバーと目地をずらすようにします。
合板同士の隙間も 2~3mm あけます。
合板の厚みは、木質フローアで仕上げる場合は 9mm、それ以外の仕上げの場合は、12mm の合板を使用します。
合板の種類は、JAS 規格による接着耐久性の区分 1 類か特類をご使用ください。
コンクリートネイルは、合板からマットを貫通し、コンクリートスラブにしっかりと固定します。この時の固定は@455mm ピッチ以内としてください。

- ④ 合板の上に木質フローアまたは、タイルカーペットなどの仕上げ材を施工してください。

サンラバー（W造）

施工マニュアル

ゼオン化成株式会社
建築材料部

- ① 12 mm以上の合板で下地を作ってください。
- ② 製品材質の性質上伸縮の可能性があるため、外周部および製品間は2～3 mmずつ隙間を開けてサンラバーを敷き込みます。その際、床下地の目地とサンラバーの目地が重ならないようにしてウレタン系接着剤で仮止めをしてください。
- ③ 上記の施工後、再度9 mm以上の合板を捨て貼りしてください。
- ④ 木質フローアを貼るときは、しっかりとフローアネイルで固定して仕上げてください。
- ⑤ クッションフローアやカーペット仕上げの場合は、必ずサンラバーの上に12 mm以上合板を捨て貼りしてから仕上げ材を貼ってください。